

神奈川みなみ医療生協 機関紙

9
月号

みなみ

発行月 2026年 9 月
発行所 神奈川みなみ医療生活協同組合
横須賀市平作 7-10-27
TEL 046 (853) 8105
E-mail h-sosiki2@k-minami.or.jp
URL https://www.k-minami.or.jp
編集 機関紙編集委員会

原水爆禁止2026年世界大会 ～核兵器のない平和で公正な世界を～

8月3日から9日まで、
広島と長崎で原水爆禁止世
界大会が開催されました。



会場は多くの参加者でいっぱい

核兵器廃絶へ決意

アメリカが広島と長崎に原爆を投下して81年。今回の原水爆禁止世界大会にはオンラインでの参加も含めると、のべ約5350人が参加。11か国から70人の国際機関や政府代表、反核平和運動の代表などが参加し、共同の力で核兵器のない世界を実現しようという決意を合いました。

現地へ代表を派遣しました

神奈川みなみ医療生協からも浦賀支部・下鶴敦子さん、健康まちづくり部の中村静夏さんの2人を広島大会に代表派遣しました。



神奈川みなみ医療生協の代表

原水禁世界大会参加報告

浦賀支部 下鶴 敦子

神奈川みなみ医療生協北下浦支部長の土橋さんから働きかけられ、広島県立総合体育館で開催された「原水爆禁止2026世界大会」に被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界を人類と地球の未来のために「に参加しました。開会総会には、約2700人が参加

し、会場は活気に溢れていました。全国からの参加者に、海外からの参加者、代表の方もいらつしやいました。

二日目の午後の分科会では、被爆の実相と題した、元教員の方の講義を受けました。広島はウラン60キロの内の1キロの核分裂、その光工

に、会場は活気に溢れていました。全国からの参加者に、海外からの参加者、代表の方もいらつしやいました。

原水禁世界大会広島大会に参加して

健康まちづくり部 中村 静夏

8/4～6原水禁世界大会広島へ参加してきました。8月4日の開会総会会場の広島グリーンアリーナには2700人が参加。ウェブ参加の3200人と合わせて5900人が参加しました。神奈川原水協全体では180名が参加、神奈川民医連は25名の参加でした。

に優しく、内容は平和を訴えるスピーチで、戦争はしてはいけないうと思わせるお話でした。集会后にスマホで事前予約しておいた平和祈念資料館見学へ。色々な国の人が食い入るよう見ているのに負けないくらい、私も展示を見て涙がマスクに染みず外に流れハンカチで抑える場面もありました。翌日、17ある分科会の1つである動く分科会「ヒロシマの声を聞こう」へ参加。平和公園中をボランティアガイドさんとめぐる途中、韓国慰霊碑前で慰霊祭を行っているのに遭遇しました。国は違いますが悲しみは世界共通です。広島公園

の土を掘り起こすと普通に生活していたモノが出てくるそうです。一瞬で生活が変わるなんて誰も思っていなかったことでしょう。日本人だけが被ばくしたわけではなく日本に強制的に連れてこられた人も広島にいて被ばくしました。戦争は日本が被害者でなく加害者でもあることを再確認しました。午後の広島グリーンアリーナ剣道場にて「被ばくの実相学習」広島県原水協代表理事高橋信雄氏（87歳）から原爆の威力を教えてもらいました。高橋氏はどうして原爆が落とされたか知ってほしいと訴えていました。暑さとの戦いに向け、最終

す。生き残って元気に見える人の中にも、骨などの中にストロンチウム等が残り、徐々にガンや、白血病等になっていきます。それが内部被爆です。その影響は数十年に及び、世代を超えます。閉会総会で発言した韓国のイ・ギョルさんは、親の被爆の結果亡くなった方の遺影を掲げられていました。今も間接的に被爆しているのです。そんな怖い原爆を許さないと

核兵器禁止条約に署名、批准した国は100カ国に達し、閉会総会に参加したスペインのカルロス・ウマーニャさんは、今日法律が提出されたこと報告しました。世界は核兵器廃絶に動いています。しかし唯一の被爆国である日本の逆行する動きを許してはなりません。微力だけど、でも無力ではない。伝えていきたいと思っています。

日は装備を整え、ヒロシマデー集会の前に「広島市原爆死没者慰霊式及び平和祈念式」へ足を運びました。テレビでよく見る映像とは違い、かなり遠くから参加、そして高市総理大臣は「原爆症の認定を1日も早く結果をお知らせするためにできる限り迅速な審査を行うよう努めてまいります」被爆者手帳を持っている人は30万人以上いるのに原爆症と認めているのは2千人、原爆投下から81年政府は何を考えているのだろうか。恒久平和と言葉を並べているならば核兵器禁止条約の批准をお願いしたい。閉会総会では、どの話も心打たれましたが、被爆体験者の伊藤さんのお話は心に突き刺さりました。当時4歳、家族の話と戦争孤児

としての話は今の私たちには想像もつかない世界です。NHKの連続テレビ小説「あんぱん」の中に出てきた戦争孤児とも重なりました。物心ついて気づけば両親が揃い、祖父母もいて、なに不自由なく身体も動き、三度の食事が食べられ、学校に通え、差別に合うことなく結婚することができ。この今が幸せと感じなくなっている事に気づいて欲しいです。核兵器は人類と共存できない、平和は最高の公衆衛生、軍拡でなく対話、と日本女医会会長、平和を求め軍拡を許さない女たちの会協同代表の前田先生のお話に共感しました。戦後81年、次の世代へと引き継がれている事を感じ微力ながら私も伝えていきたいです。

三浦半島 地名の由来 71

「打鯖」（葉山町）

打鯖（うっさば）は葉山町一色にある地名、および海岸・磯の名称です。葉山御用邸の敷地からその前面に広がる海岸（大浜海岸と一色海岸の間）のあたりになります。



打鯖磯

かつてこの周辺の砂浜に、サバ（鯖）がよく打ち上がったことから「打鯖（うっさば）」と呼ばれるようになったと伝えられています。

打鯖の近くに下山川の河口があるのですが、ここに臨御橋（りんぎよばし）と言う橋がかかっています。天皇陛下や皇族方が御用邸周辺へお出ましになる（臨御される）道筋にあたることに由来して名付けられました。地元では赤い欄干から「赤橋」とも呼ばれているそうです。現在の形になる前は木造の橋として設置されていたそうですが、老朽化や台風等による破損を繰り返し、昭和43年に葉山町施工のコンクリート橋に改修され、現在に至ります。

この橋も老朽化が進み架け替えが検討されましたが、町では費用の捻出が難しく「葉山臨御橋架け替えプロジェクト」として費用の寄付を募りました。2億円を目標にしていたのですが、2026年3月末の寄付終了時で3億3千万円程の寄付が集まり、9月から



改修工事が始まる予定になっています。9月下旬から通行止めになる予定ですので、興味のある方はお早めに訪れてみてはいかがでしょうか。

臨御橋

2026年7月度 理事会報告

1. サマー増資の準備状況について話し合われました

7月・8月に取り組んでいる「サマー増資活動」の実施状況について報告・共有しました。各診療所ではポケットティッシュや機器購入をアピールするチラシの配付。増資してくださった方へのプレゼントなどの実施状況が報告されました。地域支部では班会訪問や運営委員会での増資呼びかけなどが実施されています。酷暑で大変ですが、サマー増資を成功させましょう。

2. いつでも元気購読キャンペーンについて

神奈川みなみ医療生協では6月1日から9月30日まで、雑誌「いつでも元気」の購読キャンペーンを実施中です。10部増部を目標に取り組んでいますが、各支部での取り組みや、理事さん・組合員の購読で、15部まで到達しています。目標は達成しましたが、引き続き購読の呼びかけをお願いします。専門部会や支部の活動を「いつでも元気」に積極的に投稿しましょう。

3. 医療福祉生協連通信教育受講料補助について話し合いました

医療福祉生協連が実施している「通信教育」に関して、今年度新コース「協同組合の価値と医療福祉生協連」コースが設置されました。今年度に限り、1,100円安く受けられることを受け、全ての職員・組合員を対象に、修了を条件に法人が全額補助することが提案され確認されました。この機にぜひ受講しましょう。

4. 2026年6月度の患者利用者状況報告

外来患者：2,945人、訪問看護：608人
訪問ヘルパー：67人、デイサービス：119人
ショートステイ：69人、ケアプラン：278人

5. 2026年6月度の経営状況報告

6月度の経常利益は768万2千円の黒字でした。

6. 2026年7月度 組織活動統計の報告

仲間ふやしは35人でした。出資金増資は281万8千円でした。

2026年7月末現在 組合員数 12,793人／出資金 359,303,000円

着任あいさつ

専務理事 安井 圭太



このたび、6月21日に開催された第86回通常総代会において、専務理事に選出いただきました安井圭太です。6月1日に川崎医療生協からみなみ医療生協へ移籍し、新たな仲間とともに歩み始めました。

私は2007年に川崎医療生協に就職して大師診療所に配属され、その後、全日本民医連へ出向。帰任後は川崎協同病院やふじさきクリニックでの管理者を経験し、さらに神奈川民医連事務局次長として4年間活動してきました。みなみ医療生協で働くのは今回が初めてであり、まだ皆さんのお名前や顔を十分に覚えていませんが、日々の関わりを通して関係を深めていきたいと思っています。

私に与えられた任務は「経営改善」と「法人運営の強化」です。これらの課題に取り組むにあたり、職員や組合員の皆さんをはじめ、県連や全日本民医連の力をお借りしながら、協同の力で前進していきたいと考えています。また、他法人から移籍してきた立場だからこそ、皆さんと顔の見える関係性を大切にし、すべての職員や組合員の皆さんとともに、より良い法人づくりに取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

どなたでも参加無料！ 健康チャレンジ2026が はじまります

～ 楽しく健康をゲットしよう ～



「神奈川まるごと健康づくり」健康チャレンジ2026」が始まります。

この機会に生活習慣を振り返り、健康習慣を身につけるきっかけにしましょう。**チャレンジ期間は10月～11月の2か月間。この期間中の30日間（連続でなくても可）チャレンジを実施します。**チャレンジシートに記録したらお近くの診療所など、医療生協に提出してください。**提出メ切は12月15日です。**提出されたみなさまには達成賞を差し上げます。また、神奈川みなみ医療生協に提出をしていただいた方の中から、抽選で健康グッズなどが当たる企画を今年も実施します。

チャレンジシートは機関紙9月号に折り込みます。必要な方はお近くの診療所か本部事務所にお問い合わせください。医療生協の組合員でなくてもどなたでも参加できます。

お友達や知り合いにもチャレンジをおすすめして「健康習慣」を広めましょう。

2011年から始まった「ずし平和デー」は、コロナ禍での休止はありましたが、毎年8月に行われ、今年は7日（金）から11日（火・祝）まで開催されました。逗子市被爆者の会を含め当初から参加している4団体の他、毎年2〜3団体が入れ替わりに加わって実行委員会を構成し、逗子市と共催で行われています。神奈川みなみ医療生協は、ずし平和デーを長年後援しています。実行委員会などにも多くの組合員が参加してこの活動を支えています。

初日のオープニングセレモニーでは、地元高校生や小学生の合唱、アニメの上映などが行われ、夏休みの児童クラブの子

2026 ずし平和デー

ずし平和デー

～次世代へ伝えたい平和のメッセージ～



どもたちも観覧。ずし平和デーの「戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さ」を次世代に伝える」という願いが、少しずつ形になってきました。

8月8日（土）に逗子・葉山9条の会主催の「はだしのゲンはまだ怒っている」の上映会に参加しました。映画は、9歳で被爆者した漫画家・中沢啓治さんが、国際法違反の原子爆弾を投下したアメリカに対して、怒りをもってその戦争犯罪を告発した「はだしのゲン」の誕生から現在までの足跡をたどったドキュメンタリー映画です。主人公ゲンが目の当たりにした広島、長崎の惨状をリアルに描写した漫画は、「週刊少年ジャンプ」1973年

から連載が始まり、25カ国で翻訳出版され、2024年には手塚治さんや宮崎駿さんらに続き、アメリカの「アイズナー賞」を受賞しています。近年、学校図書館での閲覧制限を求める声が上がったり、広島市の平和教材から消えるなど、平和を求める運動に逆流が起きていることも紹介しています。元産経新聞記者が「はだしのゲン」は「歴史的事実の描写が間違っている」戦前の侵略戦争はアジア防衛だったと持論を展開する場面も出てきます。

逆に編集者が、アメリカ滞在時に市民が広島・長崎の原爆についてほとんど知らないことに衝撃を受け英語版を作成した話。腹話術で子どもたちに被爆体験を話している地元の被爆者の活動。講師が「はだしのゲン」を伝え続けていることなど、戦後80年を経ても消えることがない怒りと悲しみをさまざまなジャンルの人が伝えている場面を観て、いまこそ平和実現のために一人ひとりが怒りをもち、行動する必要があると背中を押される映画でした。

神奈川みなみ医療生協
監事 M・T

ずし平和デー「いのちと平和を考える映画祭2026」に参加しました

8月8日（土）に逗子・葉山9条の会主催の「はだしのゲンはまだ怒っている」の上映会に参加しました。映画は、9歳で被爆者した漫画家・中沢啓治さんが、国際法違反の原子爆弾を投下したアメリカに対して、怒りをもってその戦争犯罪を告発した「はだしのゲン」の誕生から現在までの足跡をたどったドキュメンタリー映画です。主人公ゲンが目の当たりにした広島、長崎の惨状をリアルに描写した漫画は、「週刊少年ジャンプ」1973年

逆に編集者が、アメリカ滞在時に市民が広島・長崎の原爆についてほとんど知らないことに衝撃を受け英語版を作成した話。腹話術で子どもたちに被爆体験を話している地元の被爆者の活動。講師が「はだしのゲン」を伝え続けていることなど、戦後80年を経ても消えることがない怒りと悲しみをさまざまなジャンルの人が伝えている場面を観て、いまこそ平和実現のために一人ひとりが怒りをもち、行動する必要があると背中を押される映画でした。

神奈川みなみ医療生協
監事 M・T

介護相談室

Q & A

Q 高齢者と災害② 地域で守るために 必要な視点

A 日本は超高齢社会を迎え、災害時に高齢者が被害を受けやすい状況が一層深刻になっています。身体機能の低下や持病、情報取得の難しさなどが重なり、避難の遅れや健康悪化につながりやすいため、地域全体での支援体制づくりが欠かせません。

高齢者の方々が抱える主なりリスクとして、まず避難行動の困難があります。歩行が不安定であったり、夜間の避難に不安を抱えたりすることで、避難開始が遅れがちです。また、情報取得の遅れも大きな課題です。スマホや防災アプリを使いこなせず、警報や避難情報が届かないケースが少なくありません。さらに、災害時には服薬の継続や慢性疾患の管理が難しくなり、健康状態が悪化するリスクも高まります。独居高齢者の場合は、安否確認が遅れるなど社会的孤立が被害を拡大させる要因となります。

こうした課題に対し、地域や支援者が取り組むべきポイントとして第一に、早期避難を支える仕組みづくりが重要です。個別避難計画の作成や近隣住民による声かけ体制など、平時からの準備が重要です。次に、情報伝達の多重化が必要です。スマホだけに頼らず、防災行政無線や電話連絡網、近隣の声かけなど複数の手段を組み合わせることで、情報弱者の方々に確実に情報を届けることが重要です。

また、避難所では医療・介護ニーズに対応できる体制が不可欠です。福祉避難所との連携や専門職の巡回により、服薬管理や介護が必要な人への支援を確保したり、スマホ教室や防災アプリの使い方講座など、デジタル支援を通じて情報格差を縮める取り組みも効果的です。

最後に、災害時に最も頼りになるのは地域のつながりです。日頃からの見守り活動や班会、地域の防災訓練を通じて関係性を築くことが、いざというときの迅速な支援につながります。

高齢者の方々が安心して暮らし続けられる地域をつくるために、平時からの備えとつながりづくりが何より大切です。

在宅福祉センター ケアマネージャー 内藤淳

質問募集中



介護に関する質問を募集しています。気になることやわからないことなどがあればお寄せください。

夏の高中生看護体験を開催しました！
夏休みの恒例行事となつている高校生看護体験を開催しました。
7月27日（月）は衣笠診療所にてCTやレントゲンなどの説明、実際にエコーをする体験をしてもらいました。
8月3日（月）は、葉山介護事業所のデイサービス「元気」とシヨートステイ安楽の見学を行ない、医療現場以外でも看護師が活躍していることを知ってもらいました。見学後は衣笠診療所に戻

り、血圧測定などの看護体験をしてもらいました。
今回参加してくれたのは湘南学院高校2年生の女子1名でしたが、なんと2日間とも参加してくださり、とても看護への熱意がある学生さんでした。
参加してくれた生徒さんからは「見学をしたり、実際に医療機器に触れる体験ができて良かった」と感想をいただきました。



血圧測定体験中！

是非、看護師として将来、神奈川みなみ医療生協に来てくれたら嬉しいなと思いました。
三浦診療所
看護師 小川千明

医療相談室

インフルエンザワクチン・コロナワクチンについて

厳しい暑さが続いている9月ですが、秋から冬になるとインフルエンザや新型コロナウイルスに備える時期になります。特に高齢者は感染すると肺炎など重症化するリスクが高いため、ワクチン接種が重要になってきます。インフルエンザワクチンに関しては、高用量ワクチンが話題になっていますが、今年度は供給が見込めないため、例年通りのワクチンの定期接種を実施します。インフルエンザに対する抵抗力がつくまで2週間程度かかり、効果が持続する期間は5か月とされているので、12月中旬頃までには接種は受けておきたいですね。

コロナワクチンに関しては、今年度も65歳以上の方を対象にワクチン接種が開始される予定です。最近では流行期が夏にも出現することもあり、通年を通して予防が必要となってきます。ワクチンの効果の持続は半年前後と言われていますが、重症化の予防効果は1年以上続くので定期的に接種する事が大切になります。各診療所でも、ワクチン接種の詳細が徐々に出てくる頃だと思います。同時接種も実施しているので予約時にご相談下さい。

ワクチン接種も大切ですが、日ごろからの生活習慣もとても大切です。栄養を摂り睡眠もきちんと取る事は第一に、外出後・食事の手洗い・消毒・換気（窓を2か所以上あけて空気の流れを作る）・適度な湿度（乾燥しすぎないように40～60%程度を目安に）マスクなどの感染対策と合わせて、体調が悪いときは予定を見送るなど無理をしない事が大切です。早めに対策を行い元気に冬を迎えましょう。

衣笠診療所外来看護師長 高橋あい



神奈川みなみ医療生協とともに、地域の皆さんに密着した事業を進めています！

一般社団法人メディホープかながわ 0466-52-6950

自立型の高齢者向け賃貸住宅です。近隣の医療機関薬局と連携を取っています。

高齢者向け賃貸住宅

ふじの丘ゆめホーム (藤沢市)
レインボーの家 上平間 (川崎市中原区)
レインボーの家 川崎大師町 (川崎市川崎区)

入居者募集中

メディホープかながわ 検索

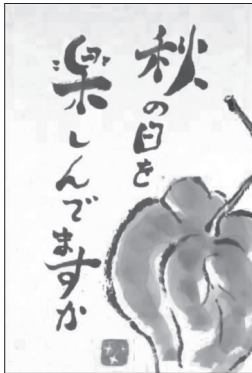
資料請求/お問い合わせ TEL 0466-54-7081

はまゆう薬局

衣笠診療所 前
横須賀市平作1-12-7
046-850-3113

お薬健康相談会
毎月第3水曜日15時~16時半
お気軽にどうぞ

横須賀市 湯本直美



三浦市 K・O

ナスの件、読んで下さりありがとうございます。はじめは1ヶ2ヶだったのですが、本日おばけナスが取れました。近頃は5本くらい収穫があり、孫が手伝ってくれています。大きいのは焼きナス。中くらいのはカットしてソーセージと玉子でキッシュ風にしたら喜んで食べてくれました。20センチくらいの苗が、今では私の背丈を越えています。

8月号の「地名の由来」でなぜ「坊免」が「棒面」に変化したかを大変面白く読みました。私も釣りが好き、魚好きなので久しぶりに松輪に自転車で行きたくなりました。(いつも釣りは自転車)

三浦市 小林秀樹

久しぶりに

おばけナス

組合員のひろば



棒麵?

「三浦半島地名の由来」を楽しみにしています。8月号の「坊免」は町内の散策で言った所です。

海近くの店で美味しい昼食を頂きました。この「ぼーめん」は麵の事ではなかったとは！地名のおもしろさに驚きます。

横須賀市 橋本順子

備えます

近年は豪雨災害が増えています。災害時は高齢者の方が避難に時間がかかることを考え、日頃から地域で支え合うことが大切だと感じました。避難場所や経路を確認し、いざという時に落ち着いて行動できるように準備しておきたいです。

逗子市 藤田愛

埋めてみた

先日、カボチャの種をごっそりそのままに埋めてみました。後日、りっぱな芽を出しすくすく育っています。なんだか元気をもらっている気がします。

三浦市 松本恵美子

文芸コーナー

俳句

空き屋増え老い行く村よ曼珠沙華

横須賀市

河合滋晴

いろは坂観光バスから初紅葉

横須賀市

堀江美帆

声ひびく居間のソファに渡り鳥

横須賀市

堀江美羽

茄子は牛きゅうりは馬の盆飾り

三浦市

宮川一滴

睡魔よぶ蚯蚓の長なきよもすがら

三浦市

三壁水華

百日紅見事に咲いて競いあう

横須賀市

佐久間敬子

ギイギイと幟きしむや祭の夜

葉山町

石井富貴子

短歌

朝白く夕は紅色一日花

はかなく燃えて散る酔芙蓉

逗子市

湊美根子

「持ちつ持たれつ」で世の中治まる

明治の金言今も生きてる

横須賀市

島森隆司

日より良く後期高齢集まりし

笑顔で頑張る転ばぬ体操

横須賀市

今井順子

機関紙の感想、日頃のエピソードや文芸、俳句、和歌などもお待ちしております。

逗子診療所にて

婦人科健診を行います!

日時:10/14(水) 13:30~16:30

検査項目	定員	金額	対象者
子宮頸がん検診	40名	1,700円	20歳以上で逗子市・葉山町にお住まいの方
乳がん検診 (乳腺エコー)	50名	組合員 2,000円 非組合員 3,500円	20歳以上の方

ご予約は 046-872-3530 逗子診療所へ

定員になり次第、予約受付を終了します。ご予約はお早めに!

健康ヨガ連載終了のお知らせ

組合員の皆様

機関紙みなみをご愛読いただき、誠にありがとうございます。長らく皆様にご愛読いただいております、「健康ヨガ」の連載は、前回(8月号)の第85回をもちまして、終了することとなりました。連載開始以来、多くの皆様から温かいご声援やご感想をいただきましたことを、編集部一同、心より御礼申し上げます。

機関紙編集委員一同

9月号

おたのしみパズル



◆たてのカギ

②家の人が外出しているとき、その家を守る。

③前もつて頼りにすること。

⑤液体を吹きかけるための器具。スプレー。

⑦相手の言うことを打ち消すときに使う言葉。

⑧よく突進する野生の豚。

⑨髪のはえきわから、眉までの間。おでこ。

⑩完全に退治すること。「交通事故○○○○」

⑬植物がくぎの先で咲かせるもの。

⑭他のところ。別のところ。

⑮水が動いて水面に高低ができる現象。

⑰自然界のものについて学ぶ教科。

◆よこのカギ

①太陽がしずんでから次の朝までの暗い時間。

④卵計算の順序や関係・法則などを記号や数字で表したもの。

⑥周囲の状況や情報に基づいて、推し量って決めること。

⑨硬いものがぶつかったときや放電のときに出る火。

⑩官公庁などに金銭や品物を納めること。

⑪牛・豚などの舌の肉。

⑫母と子。「○○手帳」

⑬政府の各省庁が発表する年次報告書。「防衛○○○○」

⑮平行でも垂直でもなく、かたむいてるさま。

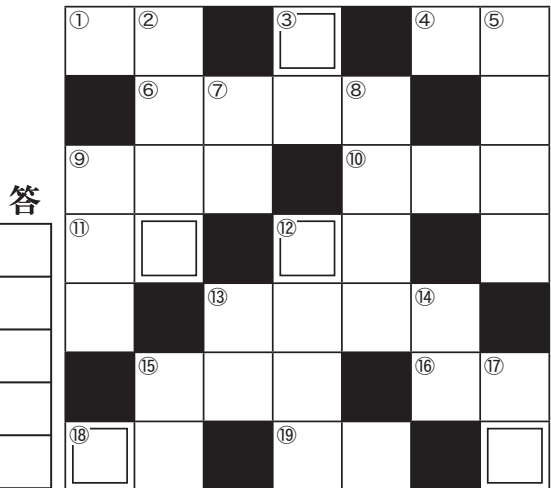
⑯雪や氷の上にすべらせて、人や荷物を運ぶ乗り物。

⑯集められた財貨・財産。経済的に価値のある資源。

⑲魚を曲がった針に付けたエサで引つけて捕ること。

夏の間は涼しい高い山にいて、秋になると平地に降りてきます。

ヒント



答

あて先

〒238-0032 横須賀市平作7-10-27
神奈川みなみ医療生協 しんぶん係
FAX:046-852-8238 E-mail:h-sosiki2@k-minami.or.jp

出題:さまくん

8月号の正解(二例)

8	1	4	3	7	2	9	6	5
6	3	7	8	5	9	4	1	2
9	5	2	6	4	1	7	3	8
5	4	3	2	6	7	1	8	9
1	2	6	9	8	4	5	7	3
7	8	9	5	1	3	2	4	6
3	7	8	1	2	5	6	9	4
4	9	5	7	3	6	8	2	1
2	6	1	4	9	8	3	5	7

応募総数 53 通
正解(3+1=4)

当選者(敬称略)

●横須賀市/浅野康子 高野真弓 堤坂敏子 ●三浦市/竹田敏子 藤岡フミヨ
●逗子市/小矢洋子 黒木孝志 佐藤宏子 安井金太郎 ●葉山町/長岡香代子